

本機のおしくみ

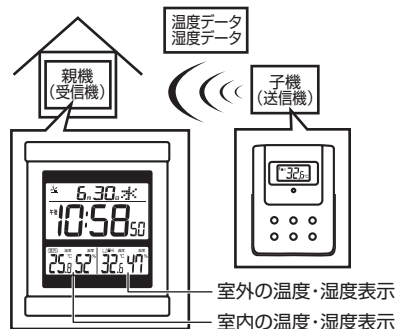
本機は温度センサー、湿度センサーを親機(受信機)と子機(送信機)の両方に持っています。子機からは計測した温度データ、湿度データを無線で親機に送信します。

親機を室内、子機を室外に置き、両方の温度、湿度を見比べるなどの使い方ができます。

以下の場合に便利です。

- ・ 外出の際の服装を決めるときなど
- ・ 子供の部屋の温度管理など

※ イラストは親機にIDR-1Jを使用した場合を示しています。



電源について

- 本機は温度・湿度計測及び送信用に単3形アルカリ乾電池を2本使用します。
- 電池はできるだけ「カシオ指定の電池」または同等品をご使用ください。
- 本機を長期間ご使用にならないときは、電池を取り外して保管してください。

お願い

機種により付属の電池を製品に入れて出荷しております。この場合は、電池消耗を防ぐために、電池部分に「絶縁シート」をつけておりますので、ご使用前に必ずこの「絶縁シート」を抜き取ってください。

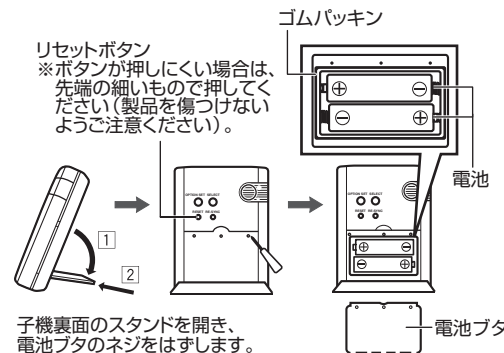
<ご注意>

- 電池の⊕ ⊖の向きは正しく入れてください。
- 電池が消耗しますと一般的に以下のようなことが起こります。このようなときは長時間放置せず、速やかに新しい電池と交換してください(定期的な交換をおすすめします)。
 - ・ 誤動作(送受信の失敗やリセット、センサーの誤計測など)することがあります。
 - ・ 液晶表示は「薄くなったり」「消えたり」します。
- 付属の電池は充電式ではありません。絶対に充電しないでください。
- お買い上げ時に付属している電池はモニター用電池*のため、電池新品時の電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
 - *モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のこと、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
- ※ 電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合にはただちに医師と相談してください。
- ※ 電池が液漏れを起こした場合は液に触れずにすぐにふきとってください。

■電池交換のしかた(電池は全て交換してください)

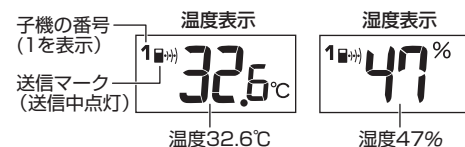
- (1) イラストのようにスタンドを開いてください。
- (2) 電池ボタのネジをはずしてください。
- (3) 電池ボタを開け、古い電池を取り出します。
- (4) 新しい電池の⊕ ⊖を間違えないようにして完全に押し込みます。
- (5) 電池交換後、リセットボタンを押します。
- (6) 溝にゴムパッキンが入っていることを確認します。
- (7) 電池ボタを閉じます。

※ 子機の番号やチャンネル等を設定していた場合は電池交換後、再度セットし直してください(「通信機能について」参照)。



表示の見方

●表示の見方



温度表示範囲: -50℃～70℃

※ -10℃未満、50.1℃以上でも温度表示を行いますが、本機の温度保証外となります。

表示単位: 0.1℃

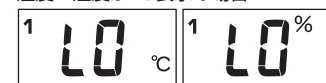
湿度表示範囲: 10%～90%

表示単位: 1%

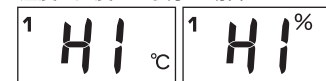
範囲を超えた場合:

表示範囲より低い場合: LO 表示
表示範囲より高い場合: HI 表示

温度・湿度がLO表示の場合



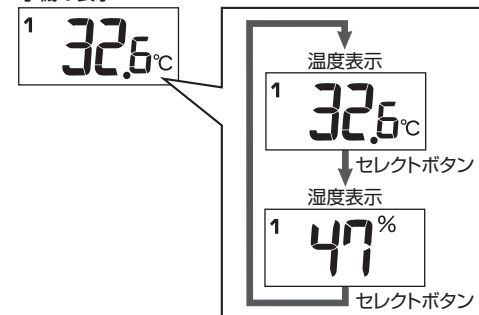
温度・湿度がHI表示の場合



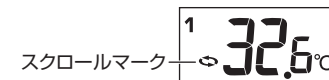
●温度・湿度表示について

温度・湿度表示は時計に内蔵されているセンサーにより時計内部の温度・湿度を計測/表示するものです。そのため、急激な変化が起きても、その温度や湿度を表示するまで(時計内部がその温度や湿度と同じになるまで)約30分程度かかります。なお、計測機能上、本機を冷・暖房器具の送風口の近くで使用しないでください。

子機の表示

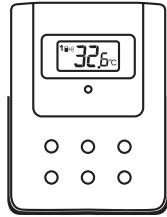


※ セレクトボタンを数秒間押したままにするとスクロールマークが点灯し表示の自動切替を行ないません。温度、湿度の表示は数秒ごとに切り替えられます。解除するにはセレクトボタンを数秒間押し続けるとスクロールマークが消えて解除されます。

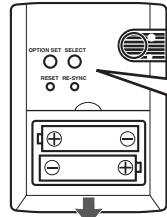


各部の名称

(表面)



(裏面 電池ボタンを開けたところ)



② オプションセットボタン

① セレクトボタン

OPTION SET SELECT

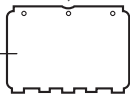
RESET RE-SYNC

④ リセットボタン

③ シンクロボタン

※ボタンが押しにくい場合は、先端の細いもので押してください(製品を傷つけないようご注意ください)。

電池ボタン



① セレクトボタン

押すごとに温度表示と湿度表示が切り替わります。数秒間押し続けると表示の自動切替になります。再度、数秒間押し続けると自動切替を解除します。

② オプションセットボタン

子機の追加やチャンネルの切り替えをするときに使います。

③ シンクロボタン

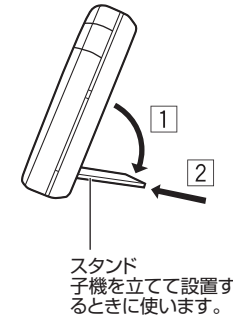
親機との同期をとるときに押します。

※ ボタンが押しにくい場合は、先端の細いもので押してください(製品を傷つけないようご注意ください)。

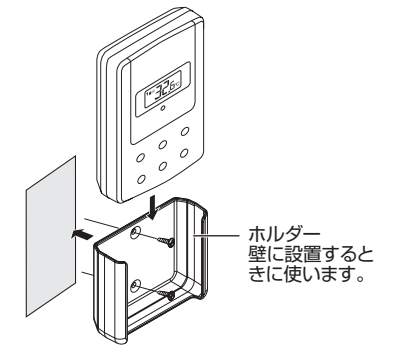
④ リセットボタン

電池交換後、必ず押します。

※ ボタンが押しにくい場合は、先端の細いもので押してください(製品を傷つけないようご注意ください)。



スタンド
子機を立てて設置する
ときに使います。



ホルダー
壁に設置する
ときに使います。

※機種により形状等が異なることがあります。

通信機能について

●子機を複数台使用する場合

親機（受信機）1 台に対し子機（送信機）は最大 3 台まで使うことができます。

子機を複数台使用するときに以下の操作を行なってください。

1. 親機側で使用する子機の台数をセットする。
2. 子機ごとに番号をセットする。
3. 親機と子機の同期を行なう。

<親機側で使用する子機の台数をセットする>

親機側の操作に関しては親機の取扱説明書をご参照ください。

<子機ごとに番号（No.1～No.3）をセットする>

子機裏面のオプションセットボタンを押し、子機の番号（No.1～No.3）を選択します。

※ 同じ番号を使用しないでください。正しく通信ができません。

<親機と子機の同期を行なう>

親機のシンクロボタンを押します。

次に各子機のシンクロボタンを押し親機と各子機の同期をとります。

同期がとれると親機の室外表示に温度と湿度が表示されます。

<通常状態>



子機の番号
（子機 No.1 を表示中）

●通信チャンネルを変更する場合

通信範囲内に他の親機や子機があると、影響を受け正しく受信できない場合があります。

このような場合は通信チャンネルを変更してください。チャンネルは 01～08 まで選べます。

親機と各子機は全て同じ通信チャンネルにしてください。

通信チャンネルを変更するときに以下の操作を行なってください。

1. 親機側で使用するチャンネルをセットする。
2. 子機側で使用するチャンネルをセットする。
3. 親機と子機の同期を行なう。

<親機側で使用するチャンネルをセットする>

親機側の操作に関しては親機の取扱説明書をご参照ください。

<子機側で使用するチャンネルをセットする>

- (1) 子機裏面のオプションセットボタンを数秒間押し続けるとセット状態になります。
- (2) シンクロボタンを使って使用するチャンネルを選択します（親機と同じチャンネルを選択します）。
- (3) 選択が終わりましたらオプションセットボタンを押して通常状態に戻します。

<親機と子機の同期を行なう>

親機裏面のシンクロボタンを押します。

次に子機のシンクロボタンを押し親機と子機の同期をとります。

同期がとれると親機の室外表示に温度と湿度が表示されます。

●通信がうまくできない場合

以下の操作をためてください。

- (1) 親機のシンクロボタンを押す。
 - (2) 子機のシンクロボタンを押す。
- それでも通信がうまくできない場合は、以下の原因が考えられます。
- ・ 通信環境が悪い ⇒ 場所を変えてください。
 - ・ 親機または子機の電池が不足している ⇒ 電池を交換してください。

●電池切れ予告機能について

子機の電池が少なくなってくると親機子機の両方に⌘マークが点灯します。そのときは、電池をすみやかに交換してください。

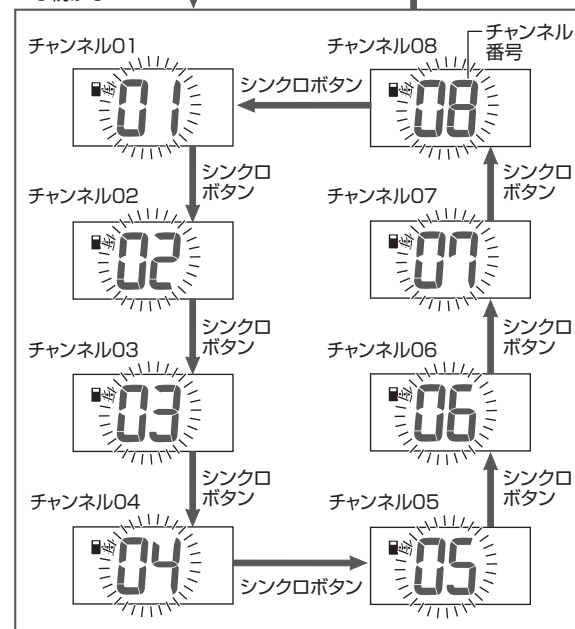
<通常状態>



<セット状態>

オプションセット
ボタンを数秒間押
し続ける

オプションセット
ボタン



<子機の表示>



本機の使い方（子機の設定）

ご購入後、子機を初めて使用するとき、および電池交換後には、以下の手順で操作を行なってください。

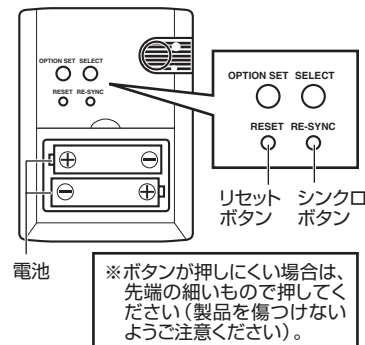
親機が電波時計機能の受信を行なっているときは、子機からの受信は行なえません。
電波時計機能の受信と時間をずらして操作をしてください（または親機のWAVE ボタンを押して電波受信を停止させてから操作を行なってください）。

1 電池を入れます（「■電池交換のしかた」参照）

裏面の電池ボタンを開き、⊕ ⊖の向きに注意して、電池を正しく入れます。

2 リセットボタンを押します（リセット操作）

裏面のリセットボタンを押します。
リセット後は数回連続して計測を行ないます。その後は32秒ごとに計測を行ないます。通常、子機からの送信は約6分ごとに行ないます。
※ 電池交換を行なったあとは、必ずリセットボタンを押してください。
※ リセット操作が終わったら電池ボタンを閉じます。



3 子機を設置したい場所の近くに置きます

周辺の環境により通信距離が著しく低下する場合があります。

4 親機、子機のシンクロボタンを押します（同期操作）

親機裏面のシンクロボタンを押します。次に子機裏面のシンクロボタンを押して親機と子機の同期をとります。同期がとれると親機の室外表示に温度と湿度が表示されます。
※ 子機を複数台使用するときは「●子機を複数台使用する場合」を参照して設定してください。
※ 通信範囲内に他の親機、子機がある場合は「●通信チャンネルを変更する場合」を参照して設定してください。

通信中は送信マークが交互に点灯します。



➡ 受信成功

※ 受信に成功すると親機に室外の温度・湿度が表示されます。また親機の受信マークが点灯して受信成功をお知らせします。

➡ 受信できない

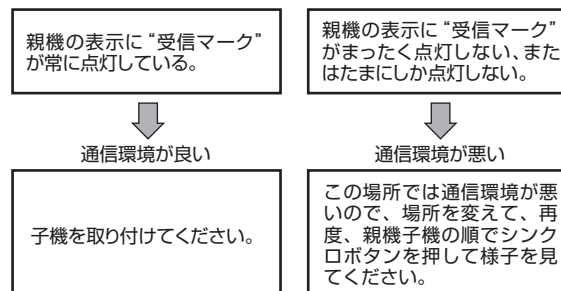
… 室外の温度・湿度は表示されません。

約6分後に受信は止まります。

※ このときは、置く場所を変えて親機と子機のシンクロボタンを押して、もう一度受信開始させてください。
※ 6分間で受信ができなかった場合、約4時間後、自動的に受信を行ないます。

5 通信状態を確認します

親機は、通常6分ごとに子機からの通信を自動的に受信します。



6 子機を取りつけます

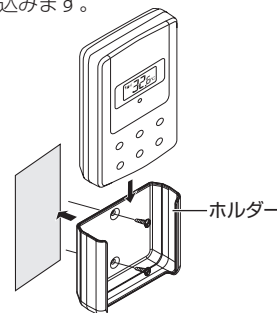
※ 通信の様子を見た場所と取り付けた場所で、通信状況に差が出る場合があります。

※ 子機は下記の場所を避けて設置してください。

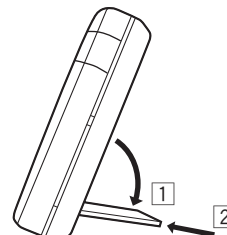
- ・ 雨や水がかかる恐れがあるところや直射日光等が当たる場所。
- ・ エアコンの室外機や煙突等（室外機からの風や煙突の熱を避けてください）。

<子機の設置について>

- ネジを垂直な梁通っている壁面または柱にしっかりネジ込みます。



- スタンドを開き、置いて使用することもできます。



子機裏面のスタンドを開き、押し込みます。

図は機種により形状等が異なることがあります。

●子機の設置場所について

※ 周辺の環境により通信の到着距離が著しく低下する場合があります。

以下のような場所は避けて本機をお使いください。

